

20日に大寒を迎えました。期間で言うと次の立春である2月4日までが大寒だそうです。大寒の朝に汲んだ水は1年間腐らないと言われており、その理由は気温の低い水は雑菌が少ないから、と言われていています。また、味噌や醤油や日本酒などの仕込みが始まるのも大寒の時期で、発酵がゆっくり進む事で品質の良い物を作れるそうです。

今週末からまた寒くなるようですので皆様ご自愛ください。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第364号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・第67回新技術現場研修会を開催します！

■機構の動き

- ・今週はありません

■Tea Break

- ・TVショー(ぼちさんの投稿です)

■研究成果のおさらい

- ・長大伏越し構造の雨水増補管に関する水理実験調査
- ・下川原雨水貯留施設水理模型実験に関する調査研究

■ピックアップ！機構情報

- ・エンジニアリングリポート
(自立管製管工法(ら旋巻管)に関する共同研究)
- ・新研究テーマの紹介
(下水処理場におけるエネルギー削減に関する自治体との共同研究
(愛知水と緑の公社, 京都府))

■はしわたし

- ・下水道機構 企画部からの投稿です！

■国からの情報

- ・1/18付下水道ホットインフォメーション

場 所：東京都千住地区

概 要：シールドの拡径による地中接合と2連ニューマチックケーソンによるポンプ所の躯体築造の施工現場

※詳細・ご案内はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/workshop67>

。 。 ○ 。

機構の動き （機構の行事予定です）

。 。 ○ 。

○平成30年度 第2回審査証明委員会を開催します！

日 時：平成31年2月1日(金) 9:45~17:20

案 件：平成30年度 建設技術審査証明（下水道技術）の各依頼技術の審議

○平成30年度 第2回調査検討支援委員会を開催します！

日 時：平成31年2月6日(水) 15:00~17:00

案 件：①今回助言対象案件の紹介
②各研究内容の概要と進捗状況の報告
③各研究内容への助言

○第378回技術サロンを開催します！

日 時：平成31年2月14日(木) 16:00~17:00

場 所：機構8階 中会議室

講演者：埼玉県 下水道局 参事兼下水道事業課長 若公 崇敏氏

テーマ：埼玉県下水道局の今後の事業展開

～経営マネジメント目標とストックマネジメント計画の策定～

※詳細及び参加申し込みはこちら

<https://www.jiwet.or.jp/salon378>

○平成30年度 第3回雨水対策共同研究委員会を開催します！

日 時：平成31年2月15日(金) 9:30~12:00

案 件：①効率的・効果的な浸水対策に資するポンプゲートに関する共同研究(最終)
②降雨情報と実測水位に基づく管きょ内水位把握システムに関する共同研究(最終)
③雨水管理支援ツール(アラート配信)に関する共同研究(継続)

。 。 ○ 。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。 。 ○ 。

●TVショー(ぼちさんの投稿です)

先日、メルマガ題材について思案していた時、ちょうどケ○ミ○ショーで地元が取り上げられていて、懐かしさを覚えました。

そこで、ここでは私の地元の博多メシについて書こうと思います。

まず、取り上げられていた「びっくり亭」。このお店を知らない博多っ子はいないのではないのでしょうか。

お店の元祖は南福岡駅徒歩3分ほどの所にあり、食事時に行くとは大行列です。

豚のハラミ等の部分を使ったにんにくたっぷりの鉄板焼肉で、辛味噌を混ぜてたれがしっかり絡んだキャベツと共に食べる。

上品な味ではないですが、一度行ったら病みつきになります。(にんにくなしも選べるそうです。)

次に、博多と言えば一口餃子が有名です。

その一口餃子で有名なお店が、博多駅から徒歩5分ほどの所にある「旭軒」。

餃子はすべて手作りで、一皿10個で350円。ペロッと食べてしまいます。ちなみに、小学5年生だった息子は80個平らげました。

こちらは、15時開店なのですが、18時過ぎあたりから人が増え始め、19時には満席になってしまいます。

大人はビール片手に酢モツや手羽先でも一杯楽しんでいきます。

次に、空港最寄りの「天ぷら ひらお」。

カウンターしかない天ぷら屋さんで、揚げたてを職人さんが目の前に一つ一つ置いてくれます。

リーズナブルなので、ファンも多いお店です。TVでもよく取り上げられている有名店です。

他にも「牧のうどん」や「屋台」など色々ありますが、長くなるので割愛させていただきます。

博多に出張など行かれる際は、ご賞味ください。

。○○。
研究成果のおさらい (機構の研究成果(要約版)をご紹介します)
。○○。

・長大伏越し構造の雨水増補管に関する水理実験調査

浸水被害の軽減のための既設幹線流下能力不足を補完する新たな雨水増補管が、長大伏越し構造となったことから水理模型実験により検証し、安全な雨水排除を実現するための合理的な対策内容について検討しました。

→ <https://www.jiwet.or.jp/2019-01-22-ab1>

・下川原雨水貯留施設水理模型実験に関する調査研究(静岡市)

大雨により下川原雨水貯留施設の取水施設から雨水噴出が発生しました。原因究明、再発防止に向けた対策の検討を目的に、同雨水貯留管全体を再現した水理模型実験を実施しました。

→ <https://www.jiwet.or.jp/2019-01-22-ab2>

。○○。
ピックアップ! 機構情報 (下水道機構情報の中から記事をご紹介します)
。○○。

・エンジニアリングレポート

(自立管製管工法(ら旋巻管)に関する共同研究)

「自立管 製管工法(ら旋巻管)」は要求性能や設計の考え方に公的な基準がありませんでした。今回、「自立管」の「製管工法」で「ら旋巻管」である本工法に求められる要求性能の明確化、設計の考え方の確立、施工における留意点の明確化に関して検討を行い、技術資料として取りまとめました。

→ <https://www.jiwet.or.jp/2019-01-22-quarterly1>

・新研究テーマの紹介

(下水処理場におけるエネルギー削減に関する自治体との共同研究)

(愛知水と緑の公社, 京都府)

下水や汚泥の処理に伴い大量の温室効果ガスを排出する一方、大きなエネルギーポテンシャルを有しており、省エネ・創エネ両方の取組みによる下水処理場のエネルギー自立化が求められています。下水道機構では、これまで省エネ技術や創エネ技術について多くの技術資料を取りまとめてきました。これらの資料を基に主要機器の消費電力を分析し、運転管理手法の改善による省エネ効果を明らかにしてきました。これまでの知見を活かし、エネルギー使用状況の実態調査を行い、消費電力量削減に向けた運転手法を研究しています。

→ <https://www.jiwet.or.jp/2019-01-22-quarterly2>

その他、下水道機構情報はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly0>

WEB 版機関誌下水道機構情報 Plus+ 15 号 (最新刊) はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter15>

。○。

はしわたし (みなさまの情報交流の場です)

。○。

●下水道機構 企画部からの投稿です！

二戸市は「下水道未普及解消クイックプロジェクト社会実験」のモデル市町村に採択され、その導入にあたって下水道機構と共同研究を実施しました。今回は、クイックプロジェクトにより整備された「工場製作型膜分離活性汚泥法の処理場」及び、「下水管きよの側溝配管と露出配管」について、その後の状況のお話を聞いてきました！

→ <https://www.jiwet.or.jp/hashiwatashi2019-01-22>

＼(^-^)皆さまからの情報提供をお待ちしております(^-^)/

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

。○。

国からの情報

。○。

↓ここからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====
下水道ホットインフォメーション (2019.1.18 の情報です)

配信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課

企画専門官 堂蘭洋昭

毎年、この時期に開催されるミス日本コンテスト。

今年は、来週 21 日に行われる予定で、2019 ミス日本「水の天使」も決まるとのことです。

13 名のファイナリストからどの方が選ばれるか。楽しみです。

2018 ミス日本「水の天使」の浦底里沙さん。

同じ鹿児島島の出身ということでこれまで以上に身近に感じる存在でした。

実際にお会いしたり、あるいは活動状況を拝見するといつも笑顔で明るく、

一方で、水の広報官として何ごとにも真剣に取り組まれ、
水の魅力を一生懸命に発信されていたと聞きました。
1年間の活動に敬意とおつかれさまの言葉を贈りたいと思います。
ほんのこておやっとなさあーでした。

※次週の掲載を希望される方は、1/23（水）17:00 までに原稿の送付をお願いします。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

○研究集会「山のトイレを考える」のご案内（NP021世紀水倶楽部）

○H31年度B-DASHプロジェクトの公募を開始！（下水道企画課）

○H31年度 下水道応用研究の公募を開始！（下水道企画課）

○ Facebook ページ「下水道の市民科学」運用開始のお知らせ（流域管理官）

○第3回先進的まちづくりシティコンペにおいて「国土交通大臣賞」を受賞することとなりました

（堺市上下水道局）

○次世代下水道小委員会講演会「下水道資源活用の最前線」を開催します（土木学会 環境工学委員会）

○研究集会「山のトイレを考える」のご案内（NP021世紀水倶楽部）

平成28年、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」ための国民の祝日「山の日」が制定され、

低山から高山まで多くの登山客が山と親しむようになってきました。景観の多様性に加え、四季折々の彩りが魅力となって多くの外国人が日本の山を目指すようになってきました。

多くの登山客を迎える「山のトイレ」の実態はどうなっているのでしょうか。
登山客が増えると山で排泄されるし尿が増え、処理が不十分だと、繊細で貴重な山の自然環境に悪影響を

及ぼし、また登山客にとっても不快な思い出が残る登山となってしまいます。

すなわち、「山のトイレ対策」が、「山の魅力」の維持そのものと直接的な関係にあると考えられます。

山のトイレを取り巻く諸環境が厳しい条件にある中でも、それぞれの山で、それぞれの取組が行われてきました。

本研究集会では、幾つかの取組みを紹介し、山におけるし尿処理の重要性と困難さ、適材適所のトイレの取組みと課題について研究します。

【プログラム】

I 基調講演

演題「日本の山は誰のものか～山の自然を正しく使うためのトイレ作法とは～」

NP0 日本トイレ研究所 上 幸雄 理事

II 事例研究

(1) 「北アルプス燕山荘のトイレ対策」 燕山荘 赤沼健至 オーナー

(2) 「高尾山における下水道」 八王子市 池内 司 水循環部長

(3) 上高地の下水道

① 「上高地の下水道—その経緯と計画立案—」 NP021 世紀水倶楽部 昆 久雄 理事

②「上高地浄化センター建設から維持管理の現状と課題」

松本市上下水道局下水道課 武川義明 浄化センター長

Ⅲ 総合討論「望ましい山のトイレ対策～これまでとこれから～」

進行 NP021 世紀水倶楽部 栗原秀人 理事

【日 時】平成 31 年 2 月 8 日（金）13 時 30 分より（受付は 13：00 から）

【場 所】全国設計事務所健康保険組合けんぽプラザ 3 F 集会室 [東京都渋谷区千駄ヶ谷 2-37-9]

【参加者及び参加費】 会員、公的団体は無料。民間企業等は 2,000 円/人

【交流会】 17：00～18：30 参加費 4,000 円/人

【申込み方法】 定員は 60 名 定員に達したら締め切ります。

21 世紀水倶楽部 HP の申込みフォームよりお申込みください。申込期限は 2/1（金）

<http://www.21water.jp/index.htm>

【問合せ先】 E-mail sympo-info2@21water.jp または TEL03-5395-0533

OH31 年度 B-DASH プロジェクトの公募を開始！（下水道企画課）

国土交通省は、下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）として、実規模レベルの施設を用いた「実規模実証」、及び導入効果などを含めた普及可能性の検討や技術性能の確認を目的とした「FS 調査」の公募を開始しました。

公募テーマ

<実規模実証>

- ① ICT 活用スマートオペレーションによる省スペース・省エネ型高度処理技術
- ② クラウドや AI 技術を活用した効率的なマンホールポンプ管理技術
- ③ AI データ解析による効率的な管内異常検知技術

<FS 調査>

- ④ 汚泥の高付加価値化と省エネ・創エネを組み合わせた事業採算性の高い炭化システム

公募説明会：1 月 23 日（水）10 時～

日本下水道新技術機構内 会議室

（最寄駅 東京メトロ有楽町線 江戸川橋駅）

公募〆切：実規模実証 2 月 14 日（木）12 時

FS 調査 2 月 18 日（月）12 時

上限額（1 技術あたり）：① 約 14.5 億円 ② 約 4 億円 ③ 約 3 億円
④ 約 3,000 万円

その他詳細は、以下のホームページを御参照ください。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewage/mizukokudo_sewage_tk_000614.html

OH31 年度 下水道応用研究の公募を開始！（下水道企画課）

国土交通省では、大学等によるラボレベルの研究を終え、企業等による応用化に向けた開発段階にある研究に対し、技術発展への支援を目的とした「下水道応用研究」について、平成 31 年度の新規公募を開始します。

公募テーマ

- ① 最適値探索型制御を用いた効率的な水処理運転管理技術
- ② 膜処理を用いた省エネ・創エネが可能な新たな下水処理技術
- ③ 下水処理水の生物等への影響評価に関する技術
- ④ 下水道資源を利用した農林水産物の生産に関する技術
- ⑤ その他の技術

公募〆切：2月22日（金） 12時

上限額（1技術あたり）：約3,000万円

その他詳細は、以下のホームページを御参照ください。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewage/mizukokudo_sewage_tk_000615.html

○ Facebook ページ「下水道の市民科学」運用開始のお知らせ（流域管理官）

2019年1月から Facebook ページ「下水道の市民科学」の運用を開始しました。

<https://www.facebook.com/gesuido.shiminkagaku/>

下水道の市民科学は、地域の活動団体と行政が協働し、科学的な観点から下水道に関する調査データ等を収集・解析等を行うことにより、下水道の見える化やよりよい地域づくりを推進する取組です。

Facebook ページでは、「下水道の市民科学」活動団体の取組や下水道に関する情報、活動団体が参加できるイベント情報、調査研究に役立つ情報など、下水道の市民科学の魅力について配信していく予定です。

皆さんからのご意見・感想・ご質問等お待ちしております。

○第3回先進的まちづくりシティコンペにおいて「国土交通大臣賞」を受賞することとなりました

（堺市上下水道局）

文章

イオンモール堺鉄砲町において、都市部に潜在する未利用エネルギーとして三宝水再生センターの

下水再生水を給湯・空調用の熱源として多段階利用するとともに、近接するせせらぎ水路の

水源として活用する、堺市下水再生水複合利用事業が、全国の数ある先進事例の中から、第3回先進的まちづくりシティコンペにおける「国土交通大臣賞」を受賞することとなりました。

なお、本コンペについては、先進的まちづくりの取組を国内外に広く情報発信をすることを目的として、

平成28年度より、都市課題の解消や次世代型都市空間の創出を行う先進的な取組を表彰する

「先進的まちづくりコンペ」を実施しており、その中から優れたものを「国土交通大臣賞」として

表彰するものです。

表彰式は2月7日（木）、国土交通省で行われる予定です。

URL：<http://water.city.sakai.lg.jp/about/torikumi/kankyenergy/1545805660921.html>

○次世代下水道小委員会講演会「下水道資源活用の最前線」を開催します（土木学会 環境工学委員会）

土木学会環境工学委員会では、次世代の下水道システムのあり方について議論・検討するための

「次世代下水道小委員会」を設置して、より安全・高効率な下水道システムへの発展を目指した活動を

展開しております。

この度、下水道に関する研究者を招いた講演会を企画しました。特にエネルギー・資源・再生水回収技術を

中心に、最新の研究成果、技術の動向などについて密度の濃い情報を得られるまたとない機会と

なっております。

講演会の最後には、聴講者の方々も交えた意見交換・総合討論も予定しております。

皆様お誘い合わせの上ご参加下さいますよう、お願い申し上げます。

■日時：平成31年2月5日（火）13：00～15：30

■場所：株式会社 建設技術研究所 10F 会議室 A（東京都中央区日本橋浜町3-21-1 日本橋浜町Fタワー）

■参加費：無料

■申込：参加される方のご氏名とご所属を2019年1月31日（木）までに電子メールで下記までお知らせ下さい。

（件名：「次世代下水道講演会申込」、

申込先メールアドレス：hatamoto@vos.nagaokaut.ac.jp）

■内容：

◆山村 寛（中央大学）：

「上下水道汚泥の一体処理 ～戦略の検討と効果の検証～」

◆渡部 徹（山形大学）：

「下水処理水再利用による飼料用米栽培－鶴岡市における産学官での挑戦－」

◆姫野修司（長岡技術科学大学）：

「下水放流水を熱源とした冷温熱を用いた植物栽培技術の開発」

◆三宮 武（国土交通省水管理・国土保全局 下水道部）（予定）

「プロジェクト GAM の紹介」

◆総合討論

（15：45～17：00 GAM マッチングイベント* 併催企画 別途案内有）

■その他詳細：<http://committees.jsce.or.jp/eec/>

http://committees.jsce.or.jp/eec/system/files/2019_0205_%E6%AC%A1%E4%B8%96%E4%BB%A3%E4%B8%8B%E6%B0%B4%E9%81%93%E8%AC%9B%E6%BC%94%E4%BC%9A_%E6%A1%88%E5%86%85_%E5%85%AC%E8%A1%A8.pdf

【参考情報】

◆下水道技術 ベトナムへ 高崎で研修員6人が視察 〈1/12 上毛新聞〉

<https://www.jomo-news.co.jp/news/gunma/society/104683>

◆ネットオークションでマンホールふた売却へ 富岡市が10枚「下水道に関心を」 〈1/15 東京新聞〉

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/gunma/list/201901/CK2019011502000139.html>

◆本物マンホール、いかが 福井市が不要ふたを販売 〈1/18 中日新聞〉
<http://www.chunichi.co.jp/article/fukui/20190118/CK2019011802000024.html>

◆多摩市 ラスカルのマンホールふた 同じ柄のクッキー人気 〈1/18 東京新聞〉
<http://www.tokyo-np.co.jp/article/tokyo/list/201901/CK2019011802000136.html>

◆海外水ビジネス市場で「チーム北九州」に勝機はあるのか? 〈1/13 NET-IB NEWS〉
<https://www.data-max.co.jp/article/27271>

◆メーカーvs下水道! 「トイレに流せる」問題 お掃除シート、溶けるか溶けないか、やってみた 〈Web ジャーナル Mizu Design〉
<https://mizudesignjournal.com/column/1579.html>

◆トイレが被災すると、被災者はもっと辛いから 神戸市、「災害時こまらんトイレ」58カ所に 〈Web ジャーナル Mizu Design〉 <https://mizudesignjournal.com/infra/1572.html>

=====

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512
ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>
○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp
○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから
→ jiwet@jiwet.or.jp
○メルマガ配信停止はこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>
○ニューズレターはこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>
○はしわたしのバックナンバーはこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/hashiwatashi>
○ゆいまーるのバックナンバーはこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru>